2026 年（令和 8 年）11 月 6 日

◆取材のためのお問い合わせ先◆
広島文化学園大学（広島 坂キャンパス）
人間健康学部
担当：相川　貴裕
電話：082-884-1001㈹
Mail: s-gakuseibu@hbg.ac.jp

部活動の地域移行における「子どもの安全の空白」を埋める学生発ビジネスモデルとして、広島文化学園大学トレーナー部が第 33 回「ひろしまベンチャー助成金（学生の部）」に採択

広島文化学園大学トレーナー部が提案する事業プランが、公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金が主催する「第 33 回ひろしまベンチャー助成金（学生の部）」に採択されました。助成金贈呈式は、11 月 4 日広島グリーンアリーナで執り行われました。本学における同助成金への採択は初めてです。

公立中学校の部活動が地域クラブへ段階的に移行するなか、現場で懸念されている「ケガ・事故への初動対応」や「安全管理の空白」という社会課題に着目。教員の負担を軽減しつつ子どもたちの安心・安全を守り、さらに学生トレーナーへの適正報酬と事業収益性を両立する先駆的なソーシャルビジネスモデルとして高く評価されました。

今後、学生が主体となりベンチャー企業を立ち上げ、持続的に地域スポーツへ貢献してまいります。

【本件のポイント】

○ 部活動地域移行の「安全の空白」を解消：

教員や養護教諭が不在になりがちな校外活動において、ケガの予防や事故時の初動対応を担う体制を整えます。

○ 県内唯一の養成校による確かな専門性：

県内唯一の JSPO-AT 養成カリキュラムで学ぶ学生が現場を担当し、経験豊富な教員（相川貴裕准教授）が監修します。

○ ボランティアに頼らない自走型モデル：

学生に適正な時給を支払いながら黒字化できる収益構造を構築し、将来的な自治体受託も見据えて持続可能な運営を目指します。

【ひろしまベンチャー助成金概要】

ひろしまベンチャー助成金は、広島県内の起業支援や新産業の創出を目的に、「公益財団法人ひろしまベンチャー育成基金」（広島銀行内などに事務局を設置）が毎年実施している助成金制度です。